
Akita DE Workation

～秋田で出会えるキーパーソンとワーケーションコンテンツ～

男鹿市「なまはげの里男鹿で地球の息吹と里山の暮らしを知る旅」

三方を日本海に囲まれた自然豊かな男鹿半島。単に「海」ではなく、単に「山」でもない。山から海への連続した風景美こそが男鹿の自然の魅力です。そんな自然あふれる男鹿を里山カフェ経営の猿田さんと共に、まるごと体験できます。



地域のキーパーソン: 猿田真さん / 里山のカフェ「ににぎ」オーナー

代々受け継いできた家を活用して古民家カフェ+民宿を営んでいる猿田さん。観光地としてのポテンシャルを持っていないながら、それを活かす人材や場所が不足している事に気が付きます。もっと男鹿を盛り上げたい...そんな想いを持つ有志が力を合わせ、現在では、地元の人や大学生、時にはミュージシャンなどが集い、様々なイベントが開催されています。

猿田さんと繋がりたい方は⇒[里山のカフェ「ににぎ」](#)



男鹿でどんなワーケーションができる？

人との交流

○[稲とアガベ醸造所](#)(代表取締役 岡住修兵さん)
一移住者でありながら男鹿のために！と立ち上がった、クラフトサケの第一人者

人との交流

○[SALT Beach](#)(代表取締役 蛭名和加子さん)一男鹿の海をこよなく愛する女性船長

人との交流

○[こおひい工房珈音](#)(代表 佐藤毅さん)一男鹿の里山とコントラバスをこよなく愛する佐藤さんのコーヒーは絶品

ワークスペース

○[里山のカフェ「ににぎ」](#)(宿)一男鹿の里山暮らしを体験できる宿でカフェスペースはワークスペースにも

ワークスペース

○[セイコーグランドホテル](#)(宿)ワークスペースを備えた部屋も整備されているホテル

体験&学び

○[なまはげ館・男鹿真山伝承館](#)一なまはげの歴史や文化を学べ、習俗行事も体験できる

体験&学び

○[男鹿半島・大湯ジオパークガイド](#)一ガイドの説明を聞きながら実際に各所を巡って大地の息吹を体感できる

体験&学び

○[大龍寺](#)(住職 三浦賢翁さん)一鐘をついたり、座禅したり、様々な体験ができるお寺。住職がアイデアマン

地域の特徴 (課題・魅力)

重要な観光資源である男鹿のなまはげは、1978年に国重要無形文化財に指定され、2018年にはユネスコ無形文化遺産「来訪神 仮面・仮装の神々」のひとつとして登録されています。そんな中、人口減少が急速に進んでおり、伝統的な観光資源を支えている人たちが年々少なくなり、観光資源の維持が難しくなっています。人口減少に歯止めをかける為にも、男鹿エリアの伝統文化(芸能・食)や里山暮らしの文化に直に触れてもらうことで、このエリアのファンづくり＝中・長期的な繋がりが期待されています。

秋田市「リノベーションで蘇る街 亀の町 街歩きの旅」

秋田市亀の町は、空き物件をリノベーションした飲食店や商業施設が点在するエリア。そのシンボルともいえる複合施設「ヤマキウ南倉庫」のマネージャーが、エリアのカフェ・ベーカリー・シェアキッチン・ショップなどをご案内し、リアルなまちづくりを体験できます。



地域のキーパーソン: 山本美雪子さん / ヤマキウ南倉庫マネージャー

「自分の生まれ育った地元を元気にしたい」という思いを抱きまちづくりについて学んだ山本さん。現在は、ヤマキウ南倉庫のマネージャーとしてまちづくりに携わっています。コワーキングスペースシナジーでは、その名の通りそこで働くもの同士の繋がりが、新たな発想が生まれる相乗効果を生み出すスペースとして活用されています。

山本さんと繋がりたい方は⇒[ヤマキウ南倉庫](#)



秋田市でどんなワーケーションができる？

人との交流

○[ヤマキウ南倉庫](#)—(マネージャー山本美雪子さん)—まちづくりに情熱を注ぐ若きリーダー

人との交流

ワークスペース

○[コワーキングスペースシナジー](#)—利用者同士のコミュニケーションが活発に行われるワークスペース

体験&学び

○[あきた舞妓](#)(紫乃さん、おとはさん、佳乃藤さん、花まりさん)
—大正初期に創業した歴史的建造物「旧割烹松下」で会える秋田美人「あきた舞妓」。秋田の歴史、文化を堪能できる

体験&学び

○[千秋公園](#)—佐竹氏の居城、久保田城跡。公園内は自由に散策でき、四季折々様々な花木を見る事ができる

その他

○[亀の町ストア](#)—ランチやドリンクをお洒落な雰囲気を楽しめるカフェ

その他

○[亀の町ベーカリー](#)—毎日焼きたてのパンが並ぶリノベーション店舗



地域の特徴
(課題・魅力)

空き物件が多く、人通りも少なかった南通り亀の町。そんな街並みが、1976年に建てられた倉庫をリノベーションして誕生した複合施設「ヤマキウ南倉庫」を中心に、多様なモノ、コト、人のつながりを生み出す新しいエリアに生まれ変わりました。思いを持って亀の町に参入した人が多く、顔が見えるその関係性は、テナント同士のみにとどまらず、来店者にも広がり、「誰かに会いに」亀の町を訪れる人も多いです。新しい考え方や価値観に出会える…それこそが、このエリアの大きな魅力となり人との繋がりが広がっていきます。

羽後町「舞踏の文化と豊かな自然に触れる 田舎暮らしを体感する旅」

豊かな自然と伝統文化、日本の原風景が今も色濃く残る羽後町。県内有数の豪雪地帯でもある田代地区で古民家民宿「格山」を営んでいる阿部さんと共に、田舎暮らしを体験できます。



地域のキーパーソン: 阿部雄太さん / かやぶき山荘格山オーナー

羽後町田代地区にある旧長谷山邸は、地主屋敷の風格を保つ木造の歴史的な建造物。阿部雄太さんが営むかやぶき山荘格山は道路を挟んで向かいに位置します。山里の文化や、古民家で味わう田舎料理など本当の田舎暮らしを体感できます。オーナーの阿部さんは、旧長谷山邸の一角にある鎌鼬美術館のボランティアスタッフでもあり、美術館には、日本を代表する舞踏家土方巽と写真家細江英公が創り上げた写真集「鎌鼬」を紹介・展示しています。

阿部さんと繋がりたい方は⇒ [かやぶき山荘格山](#)



羽後町でどんなワーケーションができる？

人との交流

ワークスペース

- [かやぶき山荘格山](#) (宿 代表 阿部雄太さん)
一築百年を超える古民家宿泊施設で田舎暮らし体験や地元の人たちとの交流が出来る。
施設内はWi-Fi完備でワークも可能

ワークスペース

体験&学び

- [阿専](#) (宿 代表 阿部英之さん)
一築130年、明治中期に建てられた国登録有形文化財の古民家宿泊施設。Wi-Fiの利用可能。
ピザ焼き体験の他、カフェ・ランチの利用もできる

体験&学び

- [鎌鼬美術館](#) (ガイド: 鎌鼬の会 事務局)
一舞踏家「土方巽」の貴重なパネルや「鎌鼬」の初版など貴重な展示物を見学できる舞踏家の聖地

体験&学び

- [農家レストランあるもんで](#) 一山にあるもの、旬のもので地元のお母さんたちが作る田舎料理を旧長谷山邸の中で味わえる週末限定・里山レストラン。

地域の特徴 (課題・魅力)

人口減少、高齢化が進む中、農家の後継者が不足しています。また田代地区は県内有数の豪雪地帯となっており、冬場の生活環境が非常に厳しい地域です。そのような地域課題は、見方を変えれば日本古来の原風景が今も残る貴重な地域であり、茅葺屋根の古民家はリノベーションされ、地元の田舎料理を味わいながら宿泊できる施設として活用されています。また秋田出身の世界的な舞踏家「土方巽」の美術館は、国内はもとより海外からも集客できる唯一無二のコンテンツです。

羽後町「西馬音内盆踊りの里で 伝統文化と人の繋がりに出会う旅」

日本三大盆踊りのひとつであり、ユネスコ無形文化遺産登録された風流踊りのひとつでもある、西馬音内盆踊り。祭りを支えている地元の方たちからその歴史を直接聞き、体験することができ地域に密着したワーケーションを体験することができます。



地域のキーパーソン: 村岡悠司さん / yado & kissa UGO HUBオーナー

yado & kissa UGO HUBは、「宿泊」「飲食」「レンタルスペース」「起業支援」の4つの機能を備えた複合空間で、空き物件をリノベーションし、2020年4月25日にオープンしました。毎日を楽しんで生きる大人たちが集う空間を作ることで、これからの社会を担う地域の子どもたちが「大人って楽しそう!」と思ってもらえる未来を目指しています。

村岡さんと繋がりたい方は⇒[UGOHUB](#)

羽後町での暮らしを体験してみたい方⇒[羽後町体験住宅](#)



羽後町でどんなワーケーションができる？

人との交流

体験&学び

○西馬音内盆踊り会館

—西馬音内盆踊りの代表的な衣装である「端縫い」衣装の見学、盆踊り踊り・着付け体験など
実際にお祭りに関わる地元の人たちと直に交流が出来る

ワークスペース

体験&学び

○UGOHUB(宿 オーナー村岡悠司さん)

—Wi-Fi完備で大きなデータも取り扱えるワークスペースとして利用できる他、宿泊施設もある複合施設なので
利用する人同士で新しい発想が生まれる

体験&学び

○NPO法人みらいの学校

—地域の子どもたちのキャリア教育をはじめ、地域外との様々な交流でエリアの活性化を目指す取り組みを
知り・体験することができる

体験&学び

○道の駅うごーつなぎに布海苔を使う西馬音内名物のそば作り体験もできる道の駅で地産品も豊富

地域の特徴
(課題・魅力)

人口減少、高齢化は同エリアでも深刻ではありませんが、国の重要無形民俗文化財に指定され、R4にはユネスコ無形文化遺産への登録が決まった「西馬音内盆踊り」はエリアにとって強力な集客コンテンツです。実際のお祭り期間以外でも、西馬音内盆踊り会館ではお祭りの衣装の着付け体験や鑑賞、踊り講座などを体験することができます。お祭りを通じた地元の方との交流は、関係人口構築に繋がり伝統文化継承の面においても期待されます。また、ワークスペース・宿泊施設でもあるUGOHUBは、全国から人々が集い様々なイノベーションが生まれる場所となっています。

湯沢市「温泉と発酵のまちで日本の伝統に会う旅」

自然豊かで小安・秋の宮をはじめ多くの温泉があり、全国的に有名な稲庭うどんや、川連漆器など地場産業も豊富な湯沢エリア。お酒や味噌・醤油などの発酵文化も盛んで、その歴史・食体験など日本古来の伝統文化を体感できます。



地域のキーパーソン: 齋藤あゆみさん / 旅のわツアー代表

にかほ市出身。旅を通じて地域と外の人を繋ぎ、新しい価値を生み出したいという思いで、2019年湯沢市地域おこし協力隊に就任し、2020年2月には「旅のわツアー」を起業。地域の魅力を引き出した、個人や団体向けの体験ツアーの企画・実施を行っています。

齋藤さんと繋がりたい方は⇒ [旅のわツアー](#)



湯沢市でどんなワーケーションができる？

人との交流

○[石孫本店](#)

—安政2年(1855年)創業、国登録有形文化財の内蔵や仕込み蔵をはじめ母屋などの歴史的建造物を見学・体験することができる

体験&学び

ワークスペース

○[湯沢ロイヤルホテル](#)(宿)

—Wi-Fi完備で各お部屋でのワークの他、1Fレストラン内にある専用のワークスペースがあり、集中して作業をすることができる

ワークスペース

○[元湯くらぶ](#)(宿)—Wi-Fi完備で各お部屋でのワークが可能。源泉そのままの天然温泉

体験&学び

○[小安峡大噴湯](#)

—大地の息吹を感じる98℃の熱湯と蒸気が激しく噴出している「大噴湯」

春は新緑、秋は紅葉。そして冬は峡谷に下がる大きなつらら「しがっこ」を楽しむことができる

体験&学び

○[栗駒フーズ](#)—温泉の地熱エネルギーを利用した、低温殺菌牛乳とヨーグルトなどの乳製品の生産、販売

地域の特徴 (課題・魅力)

湯沢市岩崎エリアは、古くから交通の要衝で羽州街道の宿駅で、今でも古い町屋、蔵などが建ち並び、良質な水を利用した醸造元もあります。一方で人口減少は急速に進んでおり、湯沢市全体では2000年から2020年の間に約3割減少しました。石孫本店や佐藤養助商店など、150年以上の歴史ある地場産業もその人口減少の影響は少なくなく、直面している大きな課題になっています。このエリアの「本質＝歴史の深さ」に触れてもらうことで本エリアの伝統文化について興味・関心をもってもらう交流人口⇒関係人口の増加を図る必要があります。

にかほ市「番楽の歴史と豊かな自然に触れあう旅」

秋田県南西部に位置し南に鳥海山、西に日本海を臨む、山と海に抱かれた風光明媚なまち。そこでは400年以上継承される番楽や、ジオパークに認定された日本海と大地がつくる「水と命の循環」を体感できます。



地域のキーパーソン:金子 晃輝さん／一般社団法人 Rond 代表理事

地域資源を活かした持続的なまちづくり及び、まちづくりに取り組む地域プレイヤーの発掘・育成・持続化することを目的に活動しています。にかほ市の地域資源を活用し、起業などに興味関心を持ってもらうイベントなど様々な取り組みを地域内外に発信を行い、地域の将来を担う方々がチャレンジしやすい環境を整えています。

金子さんと繋がりたい方は⇒[一般社団法人 Rond](#)

にかほ市のワーケーションプログラム⇒[HAGAIGUにかほワーケーション](#)



にかほ市でどんなワーケーションができる？

ワークスペース

○[わくばにかほ](#)—廃校となった旧上浜小学校を改修した地域密着型の共同利用ワークスペース

人との交流

○[釜ヶ台番楽](#)(佐藤溪輔さん)

体験&学び

—400年以上の歴史ある番楽の舞や拍子を地域の方にレクチャーしてもらい演目披露する

人との交流

○[無農薬農業体験](#)(佐々木大作さん)

体験&学び

—無農薬で化学肥料を使用しない安全な米作りを体験することができる

体験&学び

○[鳥海山・飛島ジオパークガイド](#)

—中島台・獅子ヶ鼻湿原を認定ジオパークガイドと巡るトレッキングツアー



地域の特徴 (課題・魅力)

にかほ市エリアは、人口減少傾向ですが世帯数は横ばいを保っており第2次産業就業者の割合が極めて高いです。地域に古くから守り継がれる歴史ある番楽や、鳥海山や豊かな日本海、天然記念物「象潟」九十九島、風車が群立し新たな特徴的な景観が形成されている仁賀保高原など、貴重なコンテンツが数多く存在しています。この景観や自然、伝統文化を守りながらさらなる地域資源の掘り起こしとその魅力の情報発信が期待されています。

横手市十文字町「様々な交流が生まれる古民家宿泊体験と発酵文化に触れる旅」

日本屈指の豪雪地帯、秋田県横手市。盆地特有の夏は暑く、冬は雪深い気候が美味しいりんごを育みます。そのりんごを使った新しいお酒「ハードサイダー」をはじめ、様々な発酵食品を堪能できます。全国各地から人が集まる古民家宿泊では新しい交流が生まれます。



地域のキーパーソン:阿部円香さん / Hostel&Bar CAMOSIBA オーナー

学生時代に海外を旅した事で感じた人の優しさ…。十文字町でゲストハウスを営む阿部円香さんは、世話になった多くの人への恩返しの意味も込めて、ふるさとにゲストハウスを作りました。空き家となっていた古民家を仲間たちと改装。カモシバとは、人と人の繋がりを醸し出す場 として命名。オープン以来、様々な地域、国内外からの旅人がここに集います。

阿部さんと繋がりたい方は⇒[Hostel&Bar CAMOSIBA](#)



横手市十文字町でどんなワーケーションができる？

- | | |
|---------|--|
| 人との交流 | ○ Hostel&Bar CAMOSIBA (宿) |
| ワークスペース | —様々な人が、様々なエリアから集まり新しい発想や出会いが期待できる宿泊とバルが併設された施設。Wi-Fiも完備されていてワークスペースとして利用可能。 |
| 体験&学び | |
| ワークスペース | ○ Bizサポートよこて —横手市が提供する共有型ワークスペース。オープンな環境でビジネスコミュニティの場 |
| ワークスペース | ○ コワーキングスペースかま蔵 —蔵の中の落ち着いたフリースペースと個人集中スペースがあり、レンタルオフィスとしても利用可能 |
| 人との交流 | ○十文字和紙 (対応:横手市観光推進機構) |
| 体験&学び | —地域で200年以上守り続けられた技法で作る葉書や小物づくりを体験できる |
| 体験&学び | ○ MUSIRO SAUNA (宿・サウナ) |
| | —お子さまをはじめの方でも楽しめる低温高湿な秋田式蔵サウナ。宿泊も可能。 |

地域の特徴 (課題・魅力)

十文字駅前、羽州街道と増田街道が交わる場所であり、大正時代には近くにあった吉乃鉱山の鉱石運搬拠点としても栄え、飲食店などのお店が多く、交通の要衝でした。現在、その当時の面影は薄れてしまっていますが、現在でも駅前周辺には飲食店が比較的多く、現在は街歩きのスポットにもなっています。また横手市産のりんごを使ったハードサイダー(りんごの発泡酒)の醸造所がR5年にオープン予定で新しい観光拠点として注目されています。長年この土地に伝わる伝統と歴史、そしてそれらを活かした新たな取り組みが融合するこのエリアは関係人口構築に繋がる多くの魅力があります。

大仙市「花火のまち その伝統と職人技に触れる旅」

秋田県南部にある大仙市は、毎月花火が打ち上がる「花火のまち」として知られており、日本最高峰の全国の花火競技大会「大曲の花火」が開催されています。地元で活躍している花火職人の技術や文化に触れ、模擬花火玉づくりを体験することができます。



地域の受け入れ窓口:大仙市役所 移住定住促進課

各種お問合せ⇒[大仙市役所 移住定住促進課](#)

大仙市でどんなワーケーションができる？

- | | |
|---------|---|
| 人との交流 | ○ Shared office COZY |
| ワークスペース | — 起業したい方のスタートアップ、フリーランス、ノマドワーカー、サードプレイス、企業の出張拠点など様々な使い方が可能なワークスペース |
| 人との交流 | ○ コミュニティスペース GATHER |
| ワークスペース | — Wi-Fi6完備で各席コンセント有。ワーキングスペースやリモート個室 会議室、万全のセキュリティーでオフィス、サテライトオフィスとしても利用可能。駅近で無料駐車場有 |
| 体験&学び | ○ 模擬花火玉作り(小松煙火工業) ※(株)花火創造企業でも行っています。 |
| 人との交流 | — 工場見学 & 半纏を着て職人になった気分での模擬花火玉作り体験ができる |
| 体験&学び | ○ 花火伝統文化継承資料館「 はなび・アム 」— 花火の歴史や製造方法、鑑賞の仕方を学ぶことができる |
| 人との交流 | ○ 納豆汁作り— 大仙市に移住した方たちのコミュニティが開催する郷土料理を味わう体験イベント |
| 体験&学び | ○ 農業体験— 農業法人等で米づくりや野菜の収穫体験ができる |

地域の特徴 (課題・魅力)

大仙市エリアは、平成12年に10万人を割り込み、直近約20年間は年間1,000人程度の人口減少が続いています。そんな中全国的に知られている「大曲の花火」は、イベント期間中の来場者数が約70万人とも言われ、県内の数あるイベントの中でも抜群の集客力を誇ります。質の高い花火が頻繁に見られる地域は他にはなく、近年は修学旅行先としての受け入れが増えており若年層へのエリア認知に繋がっています。これからは、イベントによる短期的な集客とあわせて、花火に関わる関係人口の構築が期待されています。



能代市「木都の再興 新たなまちづくりと世界遺産体験の旅」

かつて製材工場が立ち並び、その材木は国内だけでなく海外にまで輸出され、「東洋一の木都(もくと)」と呼ばれていた能代市。その歴史と、再興にかける新たなまちづくりについて学び、藤里・八峰エリアでは世界遺産白神山地の大自然に触れ、環境保全の大切さを学ぶことができます。



地域のキーパーソン: 湊哲一さん / 合同会社のしろ家守舎 代表社員
 能代市を故郷に持つ湊さん。地元を離れ神奈川県横浜市で独立し家具製造の工房を立ち上げました。しかし帰郷するたびに衰退していくかつての木都にもう一度輝きを取り戻したいとの想いで移住。駅前のシャッター街となった商店街にある元酒屋さんだった空き店舗を改修し、人が集う場所をつくりました。
 湊さんと繋がりたい方は⇒ [合同会社のしろ家守舎](#)



能代市・藤里・八峰エリアでどんなワーケーションができる？

- 人との交流
ワークスペース

○ [マルヒコビルディング](#)
 ービルをリノベーションした、ワークスペース・カフェ・フリースペースがある複合施設。能代周辺エリアのワーケーション拠点として機能している
- 体験&学び

○ 瀬川銘木店ー秋田県産の木材をはじめ日本全国から集まる木材を見学
- 体験&学び

○ [井坂記念館](#)ー木都能代の基盤を確立した井坂直幹の資料を展示
- 体験&学び
人との交流

○ [世界遺産白神山地](#)(白神コミュニケーションズ 代表理事 後藤千春さん)
 ー日本山岳ガイド協会認定ガイドによる、白神山地周辺エリアでの五感を使った癒しの自然体験
- 体験&学び

○ [旧料亭金勇](#)ー国登録有形文化財に登録された木都能代を象徴する建物を見学できる
- 体験&学び

○ [能代バスケミュージアム](#)ー全国的にも珍しいバスケットボールに特化したミュージアム



地域の特徴 (課題・魅力)

かつては木のまちとして栄えていた能代市の中心市街地も近年は空き店舗が増え、シャッター街と呼ばれるほどの商店街になってしまいました。そこで、湊さんをはじめとする地元の有志が集まり、駅前の空き店舗、旧丸彦商店をリノベーションし、子どもの遊び場やカフェ、コワーキングスペースなどを整備し、多世代が集まれる「マルヒコビルディング」をスタートさせました。今では多くの人々がビルを訪れるようになり、まちに新たな活気が戻りつつあります。さらに能代市街地から車で約1時間の距離には、世界遺産白神山地があり、ガイドとともに大自然を体感することができます。

大館市「秋田犬の里で新しいまちづくりを体験する旅」

世界的に知られている「秋田犬」、その発祥の地大館市。近年、「ふるさとキャリア教育」や「リカレント教育」など地域活性化の為、様々な新しい取り組みが行われています。地域に受け継がれてきた伝統や新しいまちづくりを体験できます。



地域のキーパーソン:石山 拓真さん / いしころ合同会社 代表 特定非営利活動法人 大館学び大学 代表理事
 大館駅前のわっぱビルディング2FにあるMARUWWA(コワーキングスペース・シェアオフィス)を運営する石山さん。大館版リカレント教育事業「大館学び大学」も運営し、定期的にオリジナル講座を開いており、働くを「見つける」「役に立つ」「活力になる」ために大館市民が多く受講している。本業はクリエイティブ業だが、地元行政と連携し産業や観光などのデザインや映像制作やブランディングなど手がけていて、大館学び大学の受講者の中からフリーランスや副業で働く人を増やしチームで仕事している。
 石山さんと繋がりたい方は⇒ [いしころ合同会社](#)



大館市でどんなワーケーションができる？

- 人との交流**
ワークスペース

○ [MARUWWA](#) (いしころ合同会社 代表 石山 拓真さん)
 一ビルをリノベーションしたワークスペース・レンタルオフィス。地域の魅力・人・仕事に「出会う場」を提供
[MARUWWAニコメ](#) 一商店街の空き店舗を活用した子育てママが集うコワーキングスペース
[MARUWWA三角](#) ライブ配信やオンライン講座などに適したレンタルスタジオ
- 人との交流**
ワークスペース

○ [ベニヤマ自然パーク コテージ](#)
 一田舎の豊かな自然に囲まれた、コテージやロッジのサテライトオフィス
- 人との交流**

○ [大館学び大学](#) 「はたらく」「つながる」を後押しするために市民に開かれた学びの場。市内で実施される講座や教室の情報、大館教育を集約したポータルサイトを運営し、「学びたい」をかなえる講座を企画
- 体験&学び**

○ [柴田慶信商店](#) 伝統工芸品「大館曲げわっぱ」の製作体験※や製品販売 ※製作体験は要確認
- 体験&学び**

○ [秋田犬会館](#) 秋田犬について学ぶ事ができる秋田犬博物館や本物の秋田犬にも会える
- 体験&学び**

○ [秋田犬の里](#) 秋田犬の展示やお土産売り場、会議室を併設



地域の特徴 (課題・魅力)

大館市は、かつて交通の要衝として栄えJR奥羽本線、花輪線や国道7号、103号、285号の幹線道路が集まる交流拠点。その一方、他のエリア同様人口減は続いており直近約20年間で約2割減となっています。そのような状況の中、ひとつづくり施策として「ふるさとキャリア教育」や「リカレント教育」の実施や秋田犬を中心とした観光でまちの活性化を図っています。大館市で働く・集う・出会う場として誕生したMARUWWAには新しい出会いとアイデアが生まれ、地域の活性化が図られています。